



次々と登場する魅力的な  
ヒロイン(三国志武将)たち  
アニメ第2期決定!

美少女バトル漫画の傑作!!

# 塩崎雄二先生 インタビュー

今回の「NO COMIC〜」はアニメ第2期が決まった「一騎当千」の作者である塩崎雄二先生を特集します。2度目のインタビューということで、アニメへの期待、主人公の伯符を含めたキャラクターたちへの思い、「一騎当千」ならではの「あのシーン」についてのコメントなどはもちろん、執筆作業での驚くような裏話も聞いちゃいました。キャラクターの魅力溢れるこの「一騎当千」、アニメには本誌・つか業もプロデュース参加します。未読の方はぜひ読んでみてください!!

「一騎当千」「コミックガム」(ワニブックス/毎月26日発売)にて連載中!  
コミックス 第1巻〜第11巻(ワニブックス/900円+税) 好評発売中!!

塩崎雄二先生はこちらでも活躍中!  
「バトルクラブ」「月刊ヤングキング」(少年画報社/毎月19日発売)にて連載中!  
コミックス 第1巻〜第5巻(少年画報社/830円+税) 好評発売中!!

「一騎当千」に関する最新情報はここでチェック!  
＜掲載誌「コミックガム」公式サイト＞  
<http://www.comicgum.com/>  
＜アニメ「一騎当千〜Dragon Destiny〜」公式サイト＞  
<http://www.ikkifousen.com/>

現代に集う三国志の英傑たち 己に宿る龍を制し、天下人となるのは果たして・・・!?



孫策伯符



周瑜公瑾



呂蒙子明



劉備玄德



関羽雲長



張飛益徳



曹操孟徳



司馬懿仲達



司馬懿仲達



左慈元放



左慈元放



左慈元放



趙雲子龍



諸葛亮孔明



黄忠漢升



夏侯惇元讓



夏侯淵妙才



典章

南陽学院

成都学園

許昌学院

まず「一騎当千」の再アニメ化についての感想を聞かせていただけますか?

むちゃくちゃ嬉しかったですね。実は再アニメ化があるかもしれないと最初に聞いたときは、ないと思っていたんですよ。だって漫画自体の話が全然進んでいないじゃないですか(笑)。実際に決定して、アニメの脚本の方々や打ち合わせしたときも、「今後のお話は、どのように展開していくんですか?」って聞かれたんですが、「自分でも良くわかりません」(笑)と言ってしまったぐらいだから、皆さん困ったと思うんですよ。だからアニメを観ると、「おおこうなるのか!」って逆に自分が思わずアニメの話に引っ張られそうになるんで危ないんですよ(笑)。

なんか原作者じゃないようなことを言っていますが、ホントにアニメは楽しみなんです。アニメだと漫画の中では描ききれないこと、例えば各キャラの日常生活とかを描いてくれるじゃないですか。前作だとあのごっつい菜就がパフェを食べていたり、そういった戦い以外の彼らの日常や学園生活の場面がすごく印象に残っているんです。だから今回だったら関羽が制服以外に普段どんな服を着ているのかとか、いつも戦いで服が破けてしまうけどその後どうしているんだろうとか(笑)、そういったところに期待したいですね。

今回のアニメに対して要望というか、何か意見はされたんですか? 声優、特に井上(喜久子)さんは変えないでくれと強く要望したみたいですが(笑)。

井上さんは本当に(伯符の)ママのイメージにピッタリでしたからね。漫画でも完全に井上さんの声をイメージしながら興味が描いていますよ。伯符の浅野さんもそうでしたけど、本当に前回のアニメは自分でも気に入っているの、なるべくそのイメージのままに続けて欲しいと思ったんです。要望みたいなものはどうだろう? 実は今回のキャラデザの方(りんしん氏)に最初の頃、こうしてくれ、ああしてくれって結構色々とお願ひしてしまっただけですよ。ちょっとお願いしすぎたかなあ、ひょっとしたら怒っているかなあとか心配していたんですけど、後日「うわあ、スゲーー!」って感じたくらいのすごく気合の入ったデザインが送られてきたんで、本当に嬉しかったですね。大満足ですよ。プロモーションビデオも観ましたけど、すばらしく出来が良かったですし、本当に今から楽しみにしています。

連載がここまで続きましたけど、それに対する感想というか、

こんなに長くなるって先生自身は思っていなかったんですよね?

正直思っていなかったですね。なので今、過去に描いた設定でヤバイところが色々浮かんでくるんですけど、それでも心の奥底では横山60巻を担っているぞ!みたいなところはありますね(笑)。でも多分編集さんとしてはイヤだと思いますよ(笑)。言われたことはないんですけど、絶対にどこかでキツキツとめてくれて思っているんじゃないかなあ。とにかく風呂敷を広げすぎたというか、この間編集さんから、ちゃんと顔と名前が描かれたキャラだけですでに70人いるって聞いたんですよ。これはゲーム化が出来るんじゃないかって思いましたね(笑)。もちろん捨てキャラもいるんですけど、これをまとめるとなると最低でも広げた分ぐらいの時間はかけないといけないんじゃないかって思うんです。そうしないと途中で「頑張るぞー!」って言って終わっちゃうような話になるんで、それだけは避けたいですね。

あと単純に苦労していることといえば、キャラ達のルックスが尽きかけていることかな。髪型とか服装とか、まあ服装は制服を描けばいいんですけど…。言葉遣いはキャラの個性ですから変えないといけないじゃないですか。自分も編集さんも気づかずに後から「いやいやこのキャラはこんな言い方しないよな」って気づいたりして、だからキャラの描き分けには苦労しています。

あともう一つやめておけば良かったと思ったのが(笑)、いろんな派閥を作っちゃったことですか。例えば曹操に従う騎士達にしても賈詡と司馬懿だと違う思惑を持っていますし。現代劇としてはその方がリアルだと思ってたんですけど、さらに風呂敷を広げてどうするんだって感じになっちゃって、今すごく苦労しています(笑)。まあそれでもいろんな話、意外性を考えるのはやりがいがあるし、楽しいんですけどね。

描いていく中で変わったこととかありますか? 例えばヒロインの伯符の出番がこんなに減っちゃったこととか。

伯符の出番が減るのは実は想像していました。やっぱり史実上では孫策が若くして死んでしまったじゃないですか。だからその分史実にはないオリジナル要素を作っていくしかないじゃないかと、なかなか話が進まないんです。けれど逆に劉備たち、成都(蜀)の方だと史実上での話も多いので、漫画の中での話も広げやすいんですよ。あとやっぱり蜀のメンバーはキャラがみんな起っていますね。だから描いていても楽しいし、劉備たちを描き始めたことで、なんでみんな

劉備を主役にするか改めてわかりました。色々描きたいことが湧いてくるんだらうなあって思っていたら、その通りになっちゃいました。

今回のアニメの最初のキービジュアルでも本来のヒロインである伯符じゃなく劉備たちが描かれているんですが、それについては三国志だし、当然かなって思っているんですけど、これももし自分が考えたオリジナルストーリーだったら、「なんで?」って思うかもしれませんが、三国志を題材にしている「一騎当千」ならこれでいいと思うんですよ。

でも最初から主人公を劉備たちにしていたらここまで人気が出なかったと思います。孫策という若くして死んだ武将だからこそ、自分だけのオリジナルであるキャラ、伯符という「if」が生まれたんだと思います。まあその「if」を考えたのがとてつもなく難しいんですけど(笑)、それだけに一番のお気に入りキャラはやっぱり伯符なんです。

蜀のメンバーですが、劉備が天然ボケキャラで、関羽がカッコイイ系、そして張飛が関西弁のやんちゃな感じですけど、最近登場した趙雲も含めてそのへんはどうやって決まったんですか?

あの3人に関しては誰が描いてもこうなるんじゃないかなあ、イメージが根付いていると思うんですよ。結局、関羽を最初にごくクールな感じで出した時点でもう全てが決まったと思います。関羽がこうだったら、劉備はって感じで、実は「一騎当千」での関羽のイメージってオスカルなんです。で、「ベルサイユのばら」の、で、劉備がアントワネットなんです。ダメなヤツを守るカッコイイ女。ちょっとボケたお姫様アントワネット劉備を護る騎士オスカル関羽って感じでしょうか(笑)。姉が二人いた影響で「ベルばら」を子供の頃に読んでいて、すごく好きだったんですけど、実はこんなところにその影響がたまらなげながら思っていますね。張飛は劉備がボケな感じでアツツコミだろうという感じで、趙雲は関羽と被らないように気をつけました。クールビューティーは一緒なんだけど、黒と白という感じで、モデルをあえて言うならば座頭市かな。だから眼をつぶっているというか、でも基本はその場のノリで決まることが多いんで、あんまり深いことは聞かないでください(笑)。

武将の性別を決める際はどのように決めていたんですか? ああ(苦笑)、それは以前「コミックガム」(「一騎当千」連載誌)の読者コーナーでも質問されたんですけど、「企業秘密」

## ■「一騎当千」作品解説■

現代の関東を舞台に三国志の英傑たちが蘇る。内なる龍を持つ3人の英雄 孫策・劉備・曹操。その3人の下にそれぞれ集いし名立たる英傑たち。戦いは熾烈を極め、曹操を中心とする許昌学院が勢力を広げるなか、成都学園の孔明は「赤壁」へと動き出す。そして周瑜を曹操にさらわれた伯符が己の運命に抗うため、いま立ち上がる…。果たして伯符は己が内に潜む龍を制することが出来るのか？ そして周瑜を、仲間を護ることができるのか？ 運命に立ち向かう若者たち。それぞれの思惑が交差しあうこの戦いの行方は果たして？ 再びアニメ化が決定した爆乳弾ける美少女ハイパーバトルの大傑作！ 塩崎雄二先生によって描かれた全く新しい（常識破り）三国志漫画、ぜひ読んでみてください！

「またみんなの前でオシッコ漏らしちったし……」



霸王たる資格を持つ者に宿る内なる龍とは？ 運命をも左右する龍を伯符は制することが出来るのか？



インタビュ中に語られた裏話の元となったイラスト この美麗なイラストが描かれるまでにこんな苦労が！



まさに「一騎当千」ならではのこの描写 戦い敗れた関羽、その内股に流れるものは……？



実は百合漫画？ 護るものと護られるもの オスカルとラントワネットをイメージした関羽と劉備



爆乳&天然ボケ美少女ヒロイン・孫策伯符 出し惜しみのないオッパイ描写も「一騎当千」の魅力です！



作品のターニングポイントとなった劉備の登場シーン とうい願望が娘だったはずの劉備のこの姿は一体？

って答えたんですよ。あえて言うなら、新キャラを描くときに興味があることがそのまま出ているんですよ。ちょうど世界バレーがやっているじゃないですか。モロ影響受けています（笑）。テレビを観ていると「木村沙織（選手）いいな」、「やっぱりサオリン無限大（木村選手に付けられたキャッチフレーズ）だろっ」って（笑）。だから新たに登場させた許禰のモデルは木村選手なんです。本当にその時のノリなんです。多少のメリハリ、ゴツイのが出たら可愛い子にしようとか、可愛い系のあとは美人系かなといった感じのことは考えているんですけど、典韋の胸が小さかったのもそれまでの女性キャラがオッパイばかり目立つ感じだったんで逆にこういうキャラも描いてみようかなといった感じで決まりました。だから出る順番が一ツズレただけで全く違うキャラになった可能性はすごくありますね。

この作品の見せ場を挙げるならば、新しい武将、キャラの登場シーンかなって思うんです。毎回毎回その意外性に驚くんですけど。

登場シーンは一番気を遣いますね。そのキャラの全てが登場シーンに集約されている気がするんで。前のインタビューでもお話しした通り、デビュー作まで漫画を描いたことがなかったんで、初めて担当してくれた編集さんの言うことを素直に聞いていたんですよ。その担当さんが「塩崎くん、漫画はストーリーよりもまずキャラだよ」って繰り返し教えてくれたんです。「三つ子の魂百まで」じゃないですけど、その教えをいまだに守っているだけなんです。だからキャラの魅せ方にはかなり気を遣っていますね。セリフもできるだけ少なくして、背中やモノを語るというか、立ち姿だけで全てが伝わるように努力しています。このへんは大好きな江口（寿史）先生の影響も大きいと思います。1枚絵で魅せるのがうまいですよ。逆に喋らせるキャラには意識的にうるさいくらい喋らせます。ギャーギャーと、伯符とかがその典型ですよ。

あと「一騎当千」というと失禁シーンがよく取り上げられますけど、これって意識されているんですか？

最初はね、全然意識していなかったんですよ。さすがに今だとみなさんが言うので、多少意識していますけど、そんなに衝撃的なことなのかなって思っています。確か最初描いたのは陳宮のシーンだと思うんですが、陳宮が董卓の邸に忍び込んで見つかり、ひどい目に遭うじゃ

ないですか。あまりにひどい描写は描きたくなかったんですよ。そこで、恐怖とかショックとかを直接的な表現でなく、別の表現にしようと思ったときに足にツーンって流れるものを描いたんですよ。

僕としては単純に表現の仕方を変えただけなんですけど、アシスタントの反応がすごくあって、何回かこの表現を重ねていくうちに、こっちが指定しなくても普通に「ツーン」って仕上げてくれるようになったんですよ（笑）。「あれ、これそんなつもりじゃなかったのに」って思ったりもするんですけど、スタッフも楽しんでくれているしいいかなと。それにしてもこんなに反響があるとは思っていませんでした（笑）。

ここまで続けていった中、物語上でターニングポイントになったところってありますか？

いつも手探り状態なんですけど、あえて言えば、成都（蜀）を描き始めたところかなあ。やっぱり劉備たちが出てきてからはガワーって話が動き出しましたしね。あと呂布が死んだ話も自分的には「第一部 完」って感じで、ひとつの区切りになっているんですけど、一つだけ挙げるとしたらやっぱり劉備たちを登場させたあたりですね。あれでようやく三国が揃いましたから。

劉備の学校、成都学園は女子高ですかね。百合っぽい感じもするんですけど、そこは意識したんですか？

別に意識したわけじゃないんですけど、昔から百合系というか女子高の話が好きだったんです。「櫻の園」とか大好きで何回もビデオを観ているし、原作漫画（吉田秋生先生）もずっとバイブルにして読んでいましたし。だからガムでも「豪放ライラック」（桑田乃梨子先生）とかすっごく好きなんです。

今後の読者のみなさんにはどういったところに期待して欲しいですか？

伯符が活躍するところですね（笑）。イヤだなあ、誰も期待していなかったら……。ともかくキャラクターの魅力をとことんまで引きだして行きたいですね。まだ登場させていない武将もいっぱいいるんで、それぞれにカッコいい登場シーンを用意していきますし、それとどのキャラにも呂布に負けないくらいそれぞれカッコいい散り際を用意していきますので、そこはぜひ期待してもらいたいですね。

伯符と周瑜の恋愛要素って今後出していきますか？

恋愛ですか？ 無いと思いますよ。たぶんお互いのことは好きだと思っただけで、恋愛要素を描いたらちょっと「一騎当千」じゃなくなっちゃう気がするんです。というか自分自身、恋愛漫画が苦手なんです。惚れたはれたとか、そういう映画も好きじゃないし、だから恋愛モノって一回も描いたことないんです。だから恋愛については期待しないでください（笑）。その分アクションをより頑張っただけ描きますから。でもアニメでそういった恋愛要素を描いてくれたら嬉しいですね。もし今回無理だったらぜひ第3期でやって欲しいです（笑）。

聞いた話なんですけど、キャラを描く際に奥さんにポーズモデルをやらせてもらっているって本当ですか？

本当ですよ。でも最近はいやだと行ってやってくれなくなったんで、一人で三脚を立ててデジカメで撮っているんです（笑）。結構難しいアングルが多くなってきているので、お願いしているんですけど、やってくれないんですよ。だから自分でやっています。

関羽が体操服で青龍刀を持っているイラストを描いたことありますがみなさん知っているでしょうか？ 実はそれも自分でポーズをとって撮影したんです（笑）。あと逆に嫁さんに撮ってもらったときもありますね。リクエストするとイヤがるんで、じゃあオレがポーズを付けるから撮ってくれて、でも体のラインが男だから、それを女性のラインに変えて描くのが難しいんですよ。

最後に読者へのメッセージをお願いします。

止めろといわれるまで頑張りたいです。いろんなことを描きたいせいで、なかなか話が進まなくて申し訳ないけど、伯符たちの魅力を引き出すために必要なことは全部やっていますから、ぜひ最後まで読んでいただければと思います。娘に対する親というか、恋人のような、いやどっかかというキャラの店長みたいな気分かな（笑）。ウチの女の子たちをよろしくみたいな。言い方はあれですけど、どのキャラに対しても思い入れがあるんで、それだけにどうしても描くのに時間がかかってしまっていますが、ぜひ彼女たち、そして彼らを好きになってくれればと思います。アニメもぜひ観てください。僕も楽しみにしています。